

2026. 03. 24

## 「地学協働・コミュニティスクールガイドブック(仮称)」の構成(第2次案)

木村 純メモ

1. 私たちはなぜ「ガイドブック」をつくろうと考えたか(木村)
  - (1) 石狩市の社会教育と地学協働・コミスクのつながり
  - (2) 石狩市における社会教育委員の役割(社会教育委員はどういう人になっていて、どんな役割を果たしているか、なぜ、社会教育委員の活動として「ガイドブックづくり」をするのか)
2. 地学協働とはなにか(木村)
3. コミュニティスクールとは(出口)
4. コミュニティスクールと地学協働の一体的推進(出口・木村)
5. 石狩市における取組の経緯と現状  
石狩市における行政の要綱・規則(別紙参照)
6. 私たちは地学協働とコミスクにどう関わることができるか
  - (1) 地学協働協働本部
    - ① 運営委員(どういう人になっていて、どんな役割を果たしているか)
    - ② 運営委員をつとめて
    - ③ どうしたら運営委員になれるか(運営委員や地域コーディネーターにどういう人になってほしいか)
  - (2) 地域コーディネーター
    - ① どういう人になっていて、どんな役割を果たしているか
    - ② 地域コーディネーターになるには(どういう知識やスキルが役に立つのか)
    - ③ 地域コーディネーターをつとめて
7. 地学協働・コミュニティスクールのアクター
  - (1) 学校(学校運営協議会の役割)
  - (2) 学校は市民にどんな参画を求めているか(市民にはどんな参画の形があるか)
  - (3) 社会教育施設とサークル活動の役割
    - ① 公民館・図書館・博物館は地学協働やコミスクにどのように関わっているか
    - ② 社会教育施設等の指定管理者と地学協働
    - ③ 公民館や図書館、博物館等を拠点に活動するサークル活動と地学協働
  - (4) 子どもの居場所づくり、こども食堂など市民活動(NPO)

これらについての連絡先(あるいは責任者—公表されている場合は連絡先)